

### みずほCustomer Desk Report 2018/02/27号(As of 2018/02/26)

国際為替部 為替営業第二チーム

#### 【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	106.98 AUD/USD
TKY 9:00AM	107.07	1.2290	131.58	1.3968	0.7839
SYD-NY High	107.29	1.2355	131.90	1.4070	0.7893
SYD-NY Low	106.38	1.2278	131.09	1.3929	0.7826
NY 5:00 PM	106.94	1.2317	131.73	1.3970	0.7853
NY DOW	25,709.27	399.28	日本2年債	-0.1600	0.00bp
NASDAQ	7,421.46	84.07	日本10年債	0.0400	▲1.00bp
S&P	2,779.60	32.30	米国2年債	2.2279	▲1.21bp
日経平均	22,153.63	260.85	米国5年債	2.6108	▲0.84bp
TOPIX	1,774.81	14.28	米国10年債	2.8633	▲0.18bp
シカゴ日経先物	22,415	380.00	独10年債	0.6505	0.00bp
ロンドンFT	7,289.58	45.17	英10年債	1.5090	▲1.15bp
DAX	12,527.04	0.00	豪10年債	2.7435	▲8.35bp
ハンセン指数	31,498.60	231.43	USDJPY 1M Vol	8.60	▲0.25%
上海総合	3,329.57	40.55	USDJPY 3M Vol	8.35	▲0.25%
NY金	1,332.80	2.50	USDJPY 6M Vol	8.50	▲0.21%
WTI	64.00	0.45	USDJPY 1M 25RR	-1.16	Yen Call Over
CRB指数	196.75	0.76	EURJPY 3M Vol	8.53	▲0.30%
ドルインデックス	89.83	▲0.05	EURJPY 6M Vol	8.75	▲0.20%

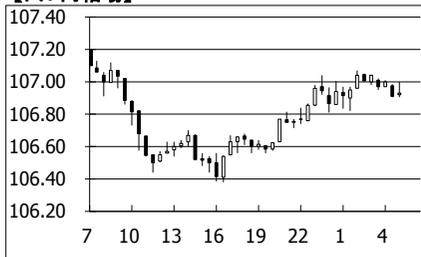
#### 【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
2月26日	22:00	米 ブラード・セントルイス連銀総裁講演		
	22:30	米 シカゴ連銀全米活動指数	1月 0.12	0.25
	23:00	米 ドラギECB総裁 議会証言		
2月27日	00:00	米 新築住宅販売件数	1月 593K	647K

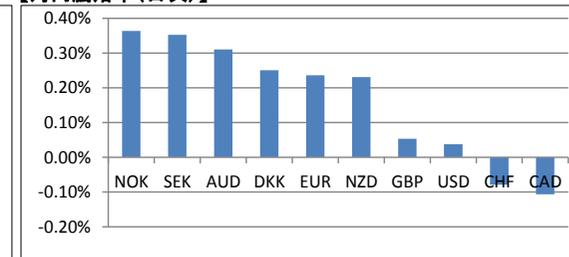
#### 【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
2月27日	19:00	欧 消費者信頼感・確報	2月 0.1	0.1
	22:30	米 卸売在庫(前月比)・速報	1月 0.4%	0.4%
	22:30	米 耐久財受注(前月比)・速報	1月 -2.0%	2.8%
	22:30	米 耐久財受注(除輸送用機器)・速報	1月 0.4%	0.7%
2月28日	00:00	米 コンファレンスボード消費者信頼感	2月 126.5	125.4
	00:00	米 パウエルFRB議長 議会証言	-	-

#### 【ドル円相場】



#### 【対円騰落率(日次)】



#### 【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	106.70-107.50	1.2250-1.2350	131.00-132.50

#### 【マーケット・インプレッション】

昨日の海外時間のドル円相場は底堅い展開となった。欧州株の堅調な推移を背景に106円台後半に反発し、また、ドラギECB総裁が「インフレはまだ持続的な上昇局面に入っていない」と、ハト派とも取れる発言をしたことで、ユーロ売りが強まったこともドルを後押しした。107円円度近辺まで上昇し、106.94円でクローズしている。本日は動意の乏しい展開を予想する。パウエルFRB議長の初めての議会証言を控えており、発言内容を見極めたいムードから、東京時間は動きづらく、もみ合う展開となりそうだ。イェレン前議長の政策方針を踏襲し、緩やかな利上げの持続を示唆すると思われるものの、今後の利上げペースに関して市場がタカ派と捉えれば、ドル買いが強まる局面も想定される為、注視したいところ。

東京	週末の金朝労働党副委員長による「米国との対話に向けた十分な用意がある」との発言を背景に週明けセア7時間のドル円は107.29まで上昇するも、その後はややレベルを戻し東京時間は107.07レベルでオープン。月末がソフト対応となったこの日、本邦実需勢による円転ローが意識される中、前日比プラス圏で寄り付いた日経平均株価を横目にドル円はじりじりと下値を切り下げる展開となり一時106.44まで下落。午前中に行われた衆議院予算委員会では、黒田日銀総裁から「2%物価目標までは距離がある」「強力な金融緩和を粘り強く続ける」との発言が出るも市場の反応は限定的となった。その後、日経平均株価が伸び悩む中でドル円相場も上値の重い展開が続き、結局106.52レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は欧州株の堅調な推移を受けじり高となった。106.52レベルでオープン。翌日(27日)に控えるパウエルFRB議長の議会証言を前に様子見ムードが広がる中、欧州株が堅調に推移するとリスク選好からドル円は106.81まで小幅に上昇。結局106.77レベルでニューヨークへ渡った。ロンドンでは往って来いの展開。1.4018レベルでオープン。25日付英新聞社とのインタビューにて、ラムズデン英中銀副総裁が「賃金上昇の加速に伴い、より速いペースで利上げが必要な状況が示唆されている」と述べたことで「ハト」は強含む展開となり、高値1.4070まで上昇。しかしその後、保守党を率いるメイ首相がブレグジット後にEUとの関税同盟に残る可能性を否定している中、この日労働党が英国のEU関税同盟に対する支持を表明。関税同盟を巡る先行不透明感が強まり1.4023まで下落し1.4034レベルでニューヨークへ渡った。(ロンドン17:00 00531 444 179 西海)
ニューヨーク	海外市場のドル円は、日本の実需勢による月末円転ローやドル安進行を背景に安値106.38まで下落するも、堅調な欧州株を横目に106円台後半まで反発し、106.77レベルでNYオープン。朝方は欧州時間の流れを引き継ぎ107.04まで上昇したが、発表された1月新築住宅販売件数が悪天候や住宅価格上昇を受けて昨年8月以来となる低水準に落ち込んだことから、NY時間の安値となる106.81まで下落。しかし、後述のドラギECB総裁の発言を受けユーロドルが下落したことから、このドル買いの流れにサポートされたドル円はNY時間の高値となる107.07まで上昇。しかし、翌日にパウエルFRB議長の議会証言を控えて、その後は107円ちょうど近辺で様子見ムードとなり結局106.94レベルでクローズ。この日、ケールズFRB理事は「更なる段階的な利上げが適切」「一時的な逆風が収まるにつれインフレ率は2%に上昇へ」と発言したが相場への影響は限定的となった。一方、ユーロドルは1.2321レベルでNYオープン。ドラギECB総裁がブルッセル欧州議会で「当局は粘り強く金融緩和を続ける必要がある」「インフレが目標水準に向かっているとの自信を深めているが、基調的インフレが上向き確実な兆候はまだ見られないし、総合インフレはまだ目標圏に達していない」と発言したことから、ユーロ売りが強まり安値1.2278まで下落。しかし、米株や原油が3週間ぶり高値まで堅調に回復する流れを受け、その後は反発し1.2317レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:大熊・鶴田